



菅野大志の

# 「いどばた会議」vol.42

まちづくりに関する活動や近況などを西川町長・菅野大志が綴ります。

# 今月の大ニュース!

『西川町の玄関口！睦合の町営住宅（コーポ睦合）の外壁がきれいになりました!』

ご登録をお願いします!



▲町公式LINE

## 1. 西川町の啓翁桜を鈴木憲和農林水産大臣へ

「雪が厳しい西川町でも、晩秋から春にかけて生産できるものがないか？」との問いの答えに「啓翁桜」を選んだ先人。その選択から今年でちょうど30年。先人の皆様のおかげで、山形県は啓翁桜の生産量で日本一となり、西川町も県内第1位に。まさに西川町は、名実ともに「啓翁桜日本一の里」となりました。



▲農林水産大臣室にて

このたび、その成果として初めて高市早苗総理大臣と鈴木憲和農林水産大臣への贈呈が実現しました。今後もこの取り組みを継続し、さらなる需要を取り込むことで、厳しい冬でも「稼げる農業」の確立を目指してまいります。そのために、啓翁桜の園地拡大や、高齢の方でも継続可能なスマート農業の導入を積極的に推進していきます。なお、農林水産大臣室への訪問に際しましては、さくらパスタを製造する玉谷製麺所の玉谷専務、JAさがえ西村山の安孫子組合長、花卸大手の株式会社フラワーオークションジャパンの福永社長、リンベル株式会社の細谷副会長に同行いただきました。

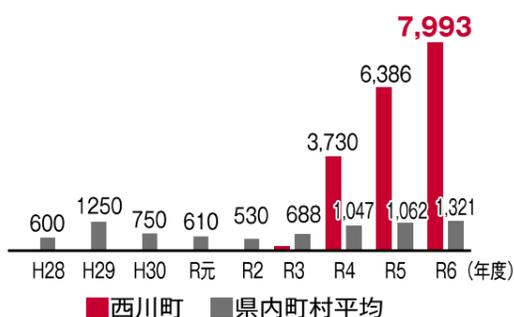
## 2. 中岫地区や軽井沢地区に安全な水を提供

西川町の大きな課題の1つは「水道インフラの老朽化」です。町の水路延長110kmのうち30%が耐用年数40年を超えております。これまで世帯の少ない中岫地区（沼山）や軽井沢地区（小山）は、しっかりした浄水装置を置くことができず、豪雨時に水道水が濁り飲水できないため、町職員がペットボトルの水を届けておりました。

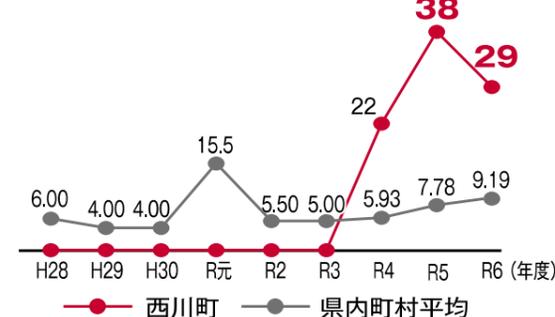
こうした状況の中、株式会社キッツ様および有限会社イーリスコーポレーション様より、企業版ふるさと納税を活用した可搬式膜ろ過装置のご寄附をいただきました。これにより、地域に安全な水を届けることが叶いました。寄附企業の株式会社キッツ様からは、「地方には、今でも安全な水が届けられない地域があることにショックを受けた。この解決の一助になりたいと思い、西川町を選んだ。」との温かいお言葉をいただいております。

令和5・6年度の企業版ふるさと納税において、西川町は県内市町村で最も多くのご寄附をいただきました。また、寄附企業数の多さ（29社）も特徴です。この結果は、町民皆様のおもてなしやつながりと職員の熱意をフルに活用させていただいたおかげです。私もしっかり謝意を伝え、寄附を継続いただけるよう頑張りたいと思います。

■寄附額の推移(万円)



■寄附件数の推移(件)



## 3. 第13回 新春西川町長杯ゲートボール大会

1月22日・23日の2日間、町長杯ゲートボール大会を開催し、4チーム（梅沢・綱取・岩根沢・水沢・入間、小山）が参加しました。今年も小山チームが優勝。「何年連続の優勝ですかね?」とお聞きしたところ「もうずっと小山チームなんだあ」というくらい続いているそうです。

小山地区では、日頃から旧小山小学校体育館のピロティにて練習しているほか、毎年夏、区民ゲートボール大会を開催されています。私も2年続けて参加させていただきました。これが強さの秘訣なのかもしれません!

大会後は、お漬物を持ち寄ってお弁当をいただき、お互いの健闘や日常生活の健康等をお話して盛り上がりおりました。また、ゲートボール関係者からのご要望にお応えした睦合公園トイレの洋式化に対してお礼も頂戴しました!



▲みんなで集合写真撮影!

## 4. 東武トップツアーズの内定者研修 in 西川町

1月29日～2月1日（月山志津温泉泊）で、東武トップツアーズ内定者研修（25名）を開催いただきました。前職時代の同社とのつながりを活かし、今年で4年連続の開催。百木田康二社長もお越しいただき、「町民の思いやりと職員の熱意を肌で感じた。来年も研修は西川町で開催する」と宣言いただきました。同社からは企業版ふるさと納税でのご寄附もいただきました。研修内容は次のとおりです。ご協力いただいた町民の皆様、ありがとうございました。

- 高齢者世帯の除雪ボランティア（原町内会、綱取町内会）
- 月山志津温泉雪旅籠の灯りの制作



▲除雪作業を行う内定者の皆さん

## 5. 今年度の対話会の開催は150回を超えました!

郵便局対話会を含めて対話会に参加いただいた町民の皆様、ありがとうございました。皆さまからいただいた疑問は、できる限りお答えしていきますし、今後の行政運営にあたっては、積極的に実施してまいります。国・県に頼まなければ実現できないことは、職員と吟味してできること、しっかりと要望していきます。

■対話会開催数の推移(回)

